

ちょうどいいまち菊川の まめめめ通信

発行 2022 年冬号

昨年の選挙から早いもので1年が経ちました。2022 年もよろしくお願いいたします。
 1 月中旬から新型コロナウィルスの変異株オミクロン株の感染が拡大しております。一人ひとりの小さな行動の積み重ねが感染拡大を防ぐことにつながります！ 新型コロナ感染対策も皆様、習慣化されていることと思いますが、今一度、それぞれが感染対策を見直し、不織布マスクの常用や人との距離の確保、換気、手洗いや消毒などを徹底することが必要です。皆様のご協力をお願いします。

令和 3 年度一般質問（2 月議会は代表質問）

○R3.6 月議会

①更に子育てしやすいまちへ ファミリーサポート制度の充実・常設の一時預りの必要性

②公共施設活用推進と公平な受益と負担のあり方の基準

公共施設を使いやすく・地区センター等の使用目的・使用料等について見直しを！

③学校での医療的ケア児への対応

全国的に増加している医療的ケア児が地域の学校で学べる体制整備を！

○R3.9 月議会

①自分事としての実効性のある防災対策と女性の防災組織への参画

被災後、実際に行動に移せる避難所運営訓練等の取り組みを全市的に行う必要性、自分事の防災対策推進、防災組織の運営側への女性の参画の必要性

②学校現場での防災教育の役割

学校での防災教育「地震から命を守るダンゴムシのポーズ」だけでいいのか？子ども達が具体的な被害を自ら考えることで自分達にあった避難訓練の形が見えてくる、そして地域防災との連携が不可欠

③通学路の安全確保の現状と課題

通学路の危険箇所を各学校から提出し、各機関が協力し改善等を例年行っているがその箇所が公開されていない、ドライバー、地域、保護者に伝えることが必要である

⇒HPで危険箇所が見られるようになりました

R3.12 月議会

①性の多様性を認め合い自分らしくいられる学校 ➡ 中学校の校則・制服の見直し

学校現場でも性別、年齢、国籍、障害など多様性の理解を進めることは重要な課題となっておりそれぞれが自分らしく生きられるよう支援していく必要がある

Q男女共同参画的な視点はもちろん多様な性の在り方についてどのような学びの場を設けているか

A「LGBTQ」に関する教職員向けの様々な研修を実施、中学保健分野では「心身の発達と心の健康」の単元で性的マイノリティーについて取り扱い、多様な性の在り方に触れている

Q様々な状況も変化しており校則の見直しが求められる、見直し状況は

A社会通念に照らし合理的と見られる範囲内で、社会情勢や学校・地域の実態に応じて毎年見直しを行っている。制服や体操服、通学かばん等については、PTA役員等のご意見も聞きながら進めている

Q 多くの学校でも検討され始めた多様性に合わせた制服の見直し、当市の見直し状況は

A 性の多様性に対応しつつ、全ての生徒にとって着心地がよく、様々なニーズに対応した制服の見直しが必要である。先行導入の調査研究を進め、掛川、御前崎市とも情報共有し、市内3校の足並みをそろえ見直しは丁寧に進めていく

②移住定住の促進とシティプロモーション

新型コロナ感染拡大に伴い首都圏から地方への移住に関心が高まっており、各自治体移住促進の施策が注目されている。内閣府が2020年6月公表の調査では「地方移住への関心に変化はあったか」との問いに「関心が高くなった」または「関心がやや高くなった」と回答した割合は全体の15%。東京23区に住む20代の若者は全体の35.4%が地方移住の「関心が高くなった」または「関心が高くなった」と回答。これからの移住定住、シティプロモーション施策について

Q魅力発信事業の反省と今回の改善点は

A移住定住者向けの小冊子を作成し移住相談会など様々な機会において配布活用してきている。若者世代の移住定住をターゲットとしているため、子育て世代の意見を多く掲載する構成となっている。今回の改善点は、実際に菊川市に移住された人々を取り上げ、移住のきっかけや暮らしぶりなどを紹介することで、よりリアルにイメージできるようにしていく

Qシティプロモーション推進が今まで以上に必要となる。菊川アンバサダー（大使）を認定し「#菊川アンバサダー」をつけた投稿を増やすこと等 情報発信の仕方で交流人口も増えていくのでは

A SNS上でのハッシュタグ(#)を活用した情報発信は拡散性が非常に高く効果的な手法である。本市の魅力を生市内外に発信していくプロモーションについては、新たな部署の創設なども含め取り組んでいきたい。菊川に愛着を持てくださる人々に情報発信をお手伝いしていただく仕組みづくりは有効な手段であると考えているため、先進事例の研究を進めていく

Q情報発信については専門的な人材の招聘や業務提携することも必要ではないか

A情報発信について、庁内だけでは進まない状況もあるため、組織立てを含め中に入らなくても外からの力を借りる体制づくりは可能である。様々な方々に関わり意見を頂き、多くの方に届くことを念頭に事業の組織立てや推進体制を検討していく

※市内の11地区の特徴や暮らしぶりなどの紹介、様々な知識技能のある市民を紹介する人財図鑑作成、菊川唯一事業（飲食店等）の移住希望者の公募、地域おこし協力隊の活用、菊川暮らし案内の充実、火剣山キャンプ場の有効活用など提案



令和 3.4 年 役職・所属

- ・会派 市民ネット 代表
- ・教育福祉委員会 委員長
- ・議会改革推進委員会 委員長
- ・議会運営委員会 委員
- ・ICT 推進チーム 副リーダー
- 一部事務組合議会
- ・掛川市菊川市衛生施設組合議会
- ・東遠地区聖苑組合議会

12 月議会 可決内容抜粋

- ・R3 年度補正予算 7 号 4 億 1620 万円
子育て世帯臨時特別給付金
- ・R3 年度補正予算 8 号 1 億 4390 万円
新型コロナワクチン3 回目接種事業費
障害児通所支援費
塵芥処理費（環境資源ギャラリーの不燃物、可燃粗大ごみ外部搬出対応）
- 小学校施設整備事業費
（北小学校、六郷小学校新年度学級増）等
- ・文化会館アエル指定管理者の指定
SBS プロモーション R9.3.31 まで

《新型コロナワクチン接種 3 回目のご案内は接種された時期の早い高齢者から 1 月 14 日より発送されています》

一般質問の録画配信は
菊川市議会ホームページで
ご覧になれます



★教育福祉委員会

R3 年度テーマ「高齢者の居場所づくり」

- ・菊川市の現状調査
- 社会福祉協議会・長寿介護課・福祉課
- ・民生委員との懇談会
- ・豊中市社会福祉協議会 ZOOM 勉強会
- ・お寺を地域の居場所に奈良修三氏講師

⇒11 月 15 日に市長あて提言書を提出

※まめめ知識※ 2020 年菊川市 県内では御前崎市からの転入が最も多く、掛川市への転出が最も多い。県外では愛知県からの転入が最も多い（※RESAS より）

★今年度から予算決算特別委員会での決算審査のまとめから市長への提言を行うこととなりました。

議会の内容は菊川市議会
Facebook ページから



